



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2018年7月 No.434
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『吾只足知』 国際会長 : 『私たちは変えられる』 アジア地域会長 : 『アクション!』 西日本区理事 : 『未来に残すべきものを守り育てる』 中西部部長 : 『次代につなぐ夢と希望』	会 長 : 三浦 直之 副会長 : 中村 茂高 書 記 : 大村 肇 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 山中 ちあき Y連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of July

父よ、それは、あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、みんなの者が一つとなるためです。すなわち、彼らをもわたしたちのうちにおらせるためであり、それによって、あなたがわたしをおつかわしになったことを、世が信じるようになるためです。

(ヨハネによる福音書 17章 21 節)

地震国、日本

松浦 孝次

- ・さる2018年6月18日朝、大阪府北部での最大震度6弱の強い地震は、「震源地」が北摂付近であり、わが住まいの比較的近くでありまた、「直下型地震」だそうで、衝撃は大きかった。
- ・震源地が「大阪府北部」であったので、住居地区にきわめて近く、あの「阪神大震災」を想起する「地震の恐怖」を再体験した。
- ・自宅では、高価な食器が数個損傷したほかは、家族や近隣世帯には、人身被害はなかったことが幸い。

交通機関がストップし(駅間で緊急停止した)、通勤通学の足を直撃し、幹線道路も長時間、通行止めになり、大変な混乱を招いた。交通機関のストップによる交通網の麻痺は近郊では、深夜まで続いた。その夜、息子や娘たちが無事帰宅したことを確認し、安心したことを生々しく思い起こす。「地震国日本」として、「予測をより精密に=科学的に、かつより迅速に出来ないものか」また「その対処の仕方?」を含めてと思う。

July Club Meeting

『Kick-off/EMC-MC』

7月第1例会

- 日 時 : 2018年7月18日(水) 18:30~20:30
 場 所 : ホテルグランヴィア大阪
 司 会 : 谷川 寛 君
- 健康体操指導
南 YMCA ウェルネス 並木 聡子 さん
 - 開会 三浦 直之 会長
 - ワイズソング 一同
 - 聖句朗読 石津 雅人 君
 - ゲスト・ピジター紹介 三浦 直之 会長
 - 今月の強調月間 三浦 直之 君
 - 入会式(花本茜さん) 司式三浦 直之 君
 - 晚餐 一同
 - 中西部部長、書記、会計、各主査挨拶/方針発表
 - 連絡・報告(決算・予算ほか) 各メンバーから
 - 誕生祝い 一同
 - 閉会 三浦 直之 会長

お誕生日 : 坂本 千春メネット

※プレゼントは松浦メンにご用意させていただきます。

例会担当 : 3班 : 石津、岡本、隅田、谷川、松浦、三浦

7月第2例会

日時 : 2018年7月25日(水) 18:30~20:30
 場所 : 土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

6月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 20名	メ ン	9名	8名	6月	6月 : 9,300円
例会出席 13名	メネット	3名	1名	現 金	ホ-クヨ: 4,000円
うちメ-キャップ	ピジター	2名	0名	累 計	
4名	ゲ ス ト	1名	1名	切 手	累 計 : 123,095円
出席率 65%	合 計	15名	11名	現 金	ホ-クヨ: 28,100円
				204g	
				0円	

【今月の聖句】

この数ヶ月を見ていて当クラブの例会の出席人数が少ないのが残念です。私たちは日々異なる環境で生活していますので、例会に出席することでメンバー間の共通項が出来、心をつにし、想いをつにすることが出来るのではないのでしょうか。ワイズのモットーに「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」とあります。EMC 主任の主題にあります様に(N)賑やかな例会、(G)元気で若々しく、(T)楽しい友達を招きたいものです。

(聖句選/コメント 石津 雅人)

6月第1例会

と き：2018年6月20日(水) 18:45~20:45

ところ：ホテルグランヴィア大阪

大阪北部を震源とする地震が18日朝にあったので、開催が危ぶまれましたが、交通機関も大体回復しメンバーにも特に大きな被害もなく安心しました。例会にはコメント2名を含む17名が参加。先ず、センテニアルクラブの会費の改訂について、三浦(岡本会計の代理)より資料をもとに説明があり、出席者により承認され、欠席者には別途、説明周知することとしました。晚餐の後、本日のメインテーマの、関西大学名誉教授・大西正曹様=写真=による、「想いをつなぐ 事業継承のつぼ」—中小企業探訪40年の経験から—と題しての卓話がありました。

永年にわたる自らの足を使つての研究の成果を、大変親しみのある語り口でわかりやすく説明していただきました。繊維産業の新技术による復活、石炭産業、泉州、西陣、今治、豊岡(鞆産業)等数々の成功事例を話されました。又、海外展開の重要性をイタリア・ミラノの靴工房の例で話され、自らの強みを認識し勇気をもって挑戦することが大事とのこと。タイトルにある“つぼ”の極意は、単なる偶然性ではなく、永年の努力と情熱の賜物と理解しました。今後の日本のモノづくりは“差から違いへ”、“モノからコトに”ということが多いに参考となりました。

次に、連絡・報告、誕生祝いと続き、ニコニコ献金9,300円、オークションによるファンドは4,000円でした。

(三浦 直之)

≡≡≡ Club Activities June, 2018 ≡≡≡

We met at Hotel Granvia, Osaka last Wednesday, June 20 for the June meeting. A majority of our club members gathered despite the great quake which hit our area Monday, June 18, two days before the meeting.

We confirm all of our members and their families are safe and well despite of the great tremor we felt at that time. Everyone managed to come through fine and there was no damage to their families and houses, etc reported.

We invited Masatomo Ohnishi, a professor emeritus of the Kansai University who specializes in the study of the rise and fall of small and medium size companies based in the Kansai.

He stated there still exist quite a large number of companies with outstanding good performance. Most of them are, however, owned by small number of private owners and their families. They now face lack of successors, now being forced to close down. How to take over family business owned by a limited number of family members is challenging, which is the biggest concern for the future Kansai economy, Prof Ohnishi stated.

We shared at the meeting gifts given by Maurice Shimonishi, club president of the Nuuanu club given at the Kobe convention.

We are appreciative of his thoughtfulness. He has already committed to come to the Kyoto Convention next year.

We have by now received several concerns from our brother clubs and sisters about the quake, from which we suffered last June 18. We are the most grateful for their concerns and support. Many thanks to everyone of our World Y's Men's family.

By Kan Tanikawa



ハワイ・ヌアヌのM・シモンシ氏とIBC交流

私たちのブラザークラブのあるハワイ・ホノルル。その玄関口であるホノルル国際空港の名前が一年前に変わったのをご存知ですか？

今は Daniel K. Inouye International Airport と呼ばれています。ニューヨークの John F. Kennedy Airport、パリの Charles de Gaulle Airport、ローマの Leonardo da Vinci Airport 英国リバプールの John Lennon Airport などの空港は、いずれも偉人の名を冠しています。

そんななかで、昨年の春、今まで簡単な名前のホノルル空港が、“ダニエル・K.イノウエ国際空港”という日系人の名前を冠した名称に変わりました。D.イノウエ氏は福岡県から移住した父母のもと 1924 年にホノルルで生まれた日系二世です。ハワイ大学に進学し、在学中に第二次大戦中の軍隊に志願し、例の日系人部隊である第 442 部隊に入隊。イタリア戦線で右手を失いながら戦い続けた戦歴を持ちます。戦後、ハワイ大学に復学、さらに George Washington 大学の法学院に進学し、その後、政治の道を志しました。30 歳の若さでハワイ議会議員となり、59 年に民主党からハワイ州選出の連邦下院議員に当選、アメリカ初の日系人議員となりました。62 年には上院議員に選出され、以降、連続 9 期、50 年にわたりハワイ州を代表する議員を務め、上院民主党の重鎮議員として日米友好に大きな貢献をしました。2012 年に享年 88 歳で死去。追悼式典は、アメリカ議会議事堂中央の大広間に棺を安置されて、行われました。この待遇は一部の大統領や少数の議員に限られているそうです。これからも日本からハワイに到着する旅人を、名前を変えた空港（下の写真）が出迎えてくれることでしょう。



6月第2例会報告

と き：6月27日（水）18:30～20:10

ところ：大阪 YMCA 会館4F

出席者：石津、大村、芝田、谷川、中村茂、何、船戸、三浦、山中ちあき、花本茜

〈クラブ活動〉

- 8月納涼例会 8月22日（水）18:30～
中之島フェスティバルタワー・ラルゴ
会費 4,000 円、ピュッフェ形式、企画＝大村メン
YMCA 表コミ学科教師7名、インターナショナルハイ
スクール教師6名参加。ウクレレ、フルート演奏など。

〈検討事項〉

- 健康体操指導の件、約15分、南 Y ウェルネスの並木
聡子さんが担当。
- クラブ会費の件、6月に説明を終え、周知をはかる。
- 関西いのちの電話チャリティーコンサートの協力の件、
10/26（金）18:30、天満敦子ヴァイオリンコンサ
ート（いずみホール）。プログラムの広告掲載 11,000
円承認。チケット 3,000 円×10 枚を例会時に案内。
- 9月メネット例会 9/19 山中ちあきメネット
ワイズソング歌唱指導 中井祥子メネット
テーマは坂本千春メネット主査と相談。
- 中西部会 9/16（日）3分クラブアピールの件、説明
用の適当な写真を石津メンに提供のこと。7/20～8月
の間に送信のこと。

（第2例会議事録より抜粋）

YMCA ニュース

☆第303回早天祈祷会☆

日時…2018年7月20日（金）7:30～8:30

証し…福島真一さん（大阪土佐堀ワイズメンズクラブ会員）

場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

☆ユースリーダー安全支援金ご協力をお願い

大阪YMCAでは、YMCA運動を支え発展させていく担い
手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のため
に、研修などに用いられる募金を実施しています。みなさま
のご協力をお願いいたします。

【募金方法】 一口 1,000 円

【募金期間】 7月1日（日）～8月31日（金）

【受付窓口】 各YMCA、

大阪YMCA統括本部（06-6441-0894）

船戸 輝久



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ゲスト・ビジターからのメッセージ》

○出席させていただきありがとうございます。興味深いお話を聞かせていただきました。(高槻クラブ・西野 陽一)

○凄くおもしろくて勉強になりました。固定観念にとらわれない大切さが身にしみました。※茨木メンバーは地震後全員の無事を確認しております。(茨木クラブ・野田 将弘)

《会員、メネットからのメッセージ》

○1年間、色々ご支援をいただきありがとうございました。

(大村 肇)

○地震のあとすぐの例会ですが、メンバーの元気な顔を見てよかったです。(坂本 千春)

○大西先生の卓話に吸い込まれました。日本の産業の将来に不安と、新しい希望が有る様に感じました。(芝田 光雄)

○大西先生の日本企業の継承の失敗例、成功例の話は大変興味ありました。(谷川 寛)

○小さいながらも我が家も家業を継ぐ時の良いアドバイスを頂いたように思います。他業種の現状をたくさん聞けて楽しかったです。(中井 祥子)

○中小企業業界の話は興味深く、先に進んだ繊維業界の写真などが他の業界を引っ張っていくという姿は素晴らしいことですね。(松浦 孝次)

○6月18日の地震は怖かったですね。急いで防災グッズを出しました。大西先生のお話、わかりやすくおもしろかったです。ありがとうございました。(松浦 和子)

○大西正曹様、大阪の中小企業のお話、大変ありがとうございます。繁栄のポイントは工夫と知恵のたまものということが良くわかりました。(三浦 直之)

○大西スピーカーの力強いお話に圧倒されそうな気分になりながらも、これに耐えて力強い時間をすごすことができました。

(山田 孝彦)



ハワイ・ヌアヌのM・シモニシ氏と一緒に

第21回西日本区大会報告

三浦 直之

6月8日(金)~10日(日)、神戸ANAクラウンプラザホテル神戸で第21回西日本区大会が開催されました。8日は前夜祭で、緑豊かな庭の北野ガーデンであり、琴とフルート、Jazzトリオの演奏でディナーを楽しみました。出席者約90名。

・6月9日(土)〈大会1日目〉各クラブのパナーセッション、大野理事、来賓挨拶と続き、神戸YMCAベルクワイアー、兵庫県立長田高校音楽部の合唱の演奏がありました。高校生の若い歌声は会場に響きわたり素晴らしかったです。続いて基調講演の有森裕子による講演「スペシャルオリンピックス」のお話でご自身の競技経験とともに想いを熱く語られ大変感銘を受けました。競技を通じて人の可能性の広がり、素晴らしさを感じました。続いて懇親会がありました。総勢約800人の懇親会はいつもながら盛大な会です。センテニアルは、ハワイ・ヌアヌクラブからモーリス・シモニシ氏が来られていますので、IBC交流の席を持ちました。席上それぞれお土産交換をしましたが、シモニシ氏の私たちに対する温かな思いに対して、多いに感謝の意を持ちました。

・6月10日(日)〈大会2日目〉9:00から礼拝、事業主任の報告、クラブ表彰と続き、理事交代式、役員交代式と厳粛な雰囲気の中引継ぎが行われました。いつも感じるのですが、これから1年間、ワイズの運営を担う責任と誇りをそれぞれ役員の方の表情からひしひしと伝わってき、良き引継ぎ式でした。又、各クラブの活動など若いワイズの勢いを多いに感じました。

後記

・暑い日が続きます。今期、中西部部長として大役を果たされた大村メンお疲れさまでした。三浦会長、続投よろしくをお願いします。

・花本茜さんの入会は朗報です。これを機に、私たちも真剣に若い人たちをどう受け入れるか考えていかなければなりません。

・西日本区大会で、ハワイ・ヌアヌクラブのシモニシ氏とのIBC交流は、心温まるものでした。

1866年横浜から800トン余りの帆船サイオト号に乗り込んだ女性6人を含む180名の日本人の出航からハワイ移民の歴史が始まるわけですが、日系人の苦労の歴史が、谷川メン寄稿の「ダニエル・K・イノウエ国際空港」に表されていると思います。

